

2011年

7月1日(金曜日) 人間の輪と絆の広がり - 京丹後市人権啓発推進協議会の開催 -

本日、京丹後市人権啓発推進協議会の本年度の総会が、日頃からご尽力いただいている関係者の皆様のご出席のもと盛会に開催されました。関係者の皆様には、常日頃、格別にご尽力いただき、本当にありがとうございます。

東日本大震災で被災された大勢の皆さんに改めて哀悼の誠と心からのお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を心からお祈り申し上げます。想像を絶する惨禍の中で被災者の皆さんが寄り添い支え合われ暮らしを進めておられるお姿に、悲しみを堪えて試練に立ち向かわれている本当に強い勇気と、人と人の絆、地域の絆の大切さを改めて感じさせていただいております。それとともに、広く全国各地の皆さんと被災地の皆さんとの思いやりや支えあいの絆も育まれて、また、世界各国の方々からも温かいご支援の思いが届けられ、大切な絆がたくさん、たくさんあると感じています。これらを重ねてみると、“共に生きる”という人の世の本来のあり方、そして今も現にありて在るあり方を今に確かめるかのような、人間の連帯の輪と絆が被災地から日本中に更に世界に向けて広がっている様であります。

この根底にあるのは、他人の痛みや喜びに寄り添い一端なりとも共有することができる、そんな「いのち」の繋がりの中で、自分も人も「いのち」と「いのちの人間らしいあり方」を大切にしようという思いや願いではないかと思いますが、それはまさに、「基本的人権」の思想の核になる部分であり、被災地を中心とする人間の絆は、その芯の部分が社会の中ににじみ出て広がり出ている姿だと思います。

本日の総会に際して思いますに、基本的人権は、いうまでもなく、いつの時代にも替えられぬ尊い意識、思想として、ますます大切にされなければならないとともに、そのためにも、引き続き、家庭や地域、職場など様々な日頃の生活の中で、市民の皆さん一人ひとりが自覚を持って、一人ひとりの個性を認め合いながら、お互いを尊ぶ、いのちを尊びあう、そんな人間性、人と人の絆、社会そのものを、関係機関の皆さんや何より市民一人ひとりが手を携え息永く育てていくことが大事です。

そんなまちと社会づくりが今ますます求められています。